

「総ぐるみ」新聞

「総ぐるみ福祉の会」の会員を対象とした

防災お助け隊が発足して、活動開始

毎年のように地震が発生する日本に住む私たちは、日頃から地震に対する対策を十分に行っておく必要があります。

◆家具の転倒防止処置

寝室や居間などに置かれた家具やテレビは、地震によって人体を傷つける凶器になったり、脱出口をふさいだりします。

そこで、これら家具やテレビなどをしっかりと固定する処置は、地震対策の基本といってもよいでしょう。

しかし、家具の転倒防止器具もいろいろあり、住宅の建て方、また部屋の様子によって最適なものを選ぶ必要があります。

例えば、木造住宅の場合は、突っ張り棒タイプの器具を家具と天井の間にに入れても、天井の強度が弱いために、役に立たない場合が多いようです。

◆防災お助け隊の発足

家具を固定する作業は、さして難しい作業ではないのですが、脚立やドリルなどの

NPO 総ぐるみ福祉の会・事務所は日限山4・44・23の宮崎宅です。入会や活動については、宮崎浩子(TEL 844・4747)、大橋綾子(TEL 823・2363)、菅沼永子(TEL 844・9193)、米川満寿子(TEL 841・9433)、菊地幸子(TEL 841・4862)に。「日限山荘」でも受け付けています。

道具が必要になり、高齢者や女性が行うのは難しいのが現実です。また、この作業を大工に頼もうとすると、半端仕事のために、なかなか引き受けてくれないし、引き受けてくれない料金は高額になります。

そこで、笹路真三氏の発案によって「防災お助け隊」を発足させ、当面、会員家庭を対象とした作業を格安に行うことになりました。笹路氏の他、大橋達氏などが賛同して、共に作業をしてくださいます。なお、受け取った作業代金は、「総ぐるみ福祉の会」の日限山荘運営費に寄付してくださる予定です。

◆I・Nさん宅で活動開始

I・Nさんは、息子さんご夫婦と2所帯住宅にお住まいですが、生活は別で、2階で独り暮らしをしていらつしやいます。

今年、家具の転倒防止用品を買い込み、息子さんに取り付けを依頼しましたが、本箱や食器棚の上に壺などが多く載せてあることもあって、簡単ではなく、とても難し

い作業になることがわかりました。

そこで、防災お助け隊の笹路氏に依頼が入り、第一号の仕事として活動を開始しました。まず、部屋の様子を見に行き、どの家具をどのような方法で固定するのかについて、打ち合わせがありました。

居間のテレビは、鎖で鴨居とつなぎ、居間のガラス扉つき本棚は、左右2箇所を丁度三角形の斜辺の形に、金属製の細い板を使って鴨居に固定。また、本棚の上に飾られた多数の壺は、テグスを使って落ちないような処置がされました。

台所の食器戸棚には、後ろの壁に細板を補強してT字型固定金具を取り付け、もう一つの食器戸棚は、そばの柱とねじり棒のような補強金具で止めて固定されました。別の部屋のたんすは、本棚同様に固定され、上に載せた三個の人形ケースは、中央付近を紅白の紐によって左右の柱に括り付けられました。I・Nさんは、大満足との事でした。

講演とハンドベル演奏会

日時：平成十七年十一月十二日(土)

午後一時半～四時半

場所：西洗自治会館 一階洋間

講演：NPO ケアラーズ代表 大蘆庵漢先生

「介護保険利用と改正について」

ハンドベル演奏：アルテミス

NPO 総ぐるみ福祉の会

たまり場 日限山荘日誌(その2)

平成十六年の六月から始まった「たまり場」の日限山荘は、毎週火・金曜日の週二日開かれ、十人前後の方が集まって、お昼を共にいただき、碁をし、編み物をし、おしゃべりをし、宇野さんの「重い重い」バナナやお菓子や紅茶、寺井さんのホットなコーヒーでお茶をし、にぎやかにしています。

「日限山荘日誌」から、様子を紹介してみます。

●四月八日(金)

グランドゴルフ部と合同のお花見会を、舞岡公園で開催。孫を連れて参加された方もあり、たいへん盛り上がり、楽しいお花見会となりました。

参加者は、三十三名。

●五月十三日(金)

ヘルパーが五人も集まり、休憩していつてくれた。このようなたまり場の使い方もあること、また、もう一部屋あると、事務所になることを実感した。今日の昼食は、一柳芳子さんが、材料持ちで、作ってくださった。いつもありがとうございます。

ハンバーグ、千切りキャベツ、ポテトサラダ、ミニトマト、トマトソース添え

干しえび、ほうれんそう、春雨の炒め物

わかめ、豆腐、ねぎ入りみそ汁

参加者は、男性七名、女性四名。

●六月七日(火)

寺井さんから採りたての大根をいただき、とても柔らかく煮えたし、また、差し入れのお菓子がたっぷりそろって、豊かな食卓になりました。

チキン、にんじん、玉ねぎのフライ

マカロニサラダ

大根の煮物

鱈の酢入りきゅうりもみ(望月さん)

麩まんじゅうと道明寺(浅井さん)

フルーツケーキ(菅沼さん)

この日は男性も女性も大勢で、囲碁、マージャン、おしゃべりと、にぎやかで楽しい一日でした。

参加者は、男性九名、女性九名。

●七月八日(金)

一日遅れの七夕祭りで、午後六〜九時までの酒宴パーティーを開催(会費一五〇〇円)。

いなりずしと巻きずし

とりと鯖の唐揚げ、野菜五種のでんぷら

さつま揚げのツナ和え、かぼちゃのサラダ

いんげんのごまみそ和え

山いもかけのそばサラダ(望月さん)

ロールケーキ、水大福、ゼリー、西瓜(工藤さん)

藤さん)ビール、日本酒、木村さんご持参

の年代物ブランデー、お茶

参加者は男性九名、女性十一名。

●七月二十二日

梅・青じそご飯

チキンカツ

ひじきの煮物

トマトと卵のスープ

水ようかん、ゼリー

民生委員の小高さんを誘い、一緒にお食事をしてもらう。また、碓井さんのお嫁さんにいつも青じそをいただくので、昼食を運び、食べてもらう。参加者は、男性五名、女性九名。

●九月二十三日(金)

お彼岸のお中日であったが、次々来てくださった。斉田さんと桑田さんが留守で人手不足を心配したら、浅井さん、移川さんが早く来て手伝ってくださいました。

おはぎ

おにぎり(浅井さんが作ってください)

さんびらごぼう

豚の冷しゃぶ、香味野菜添え(移川さん宅)

の庭で栽培の香味野菜いろいろ)

大根のみそ汁

和菓子「飛龍の玉」(浅井さん)

浅井さん持参の上等な和菓子、移川さん持参の

抹茶と茶碗でお薄をおいしくいただく。

木村さん宅に冷しゃぶとさんびらを持って行

ったら、たいへん喜んでくださった。

参加者は、男性七名、女性六名。

ボランティア募集

日限山荘にて、お昼前後の時間帯(十〜十六時)、ボランティアしてくださる方を募集しています。とくに、金曜日に人手が必要です。毎週でなくとも、月一、二回でも短時間でもよいので、手伝っていただける方、宮崎(844-7477)までご連絡ください。